

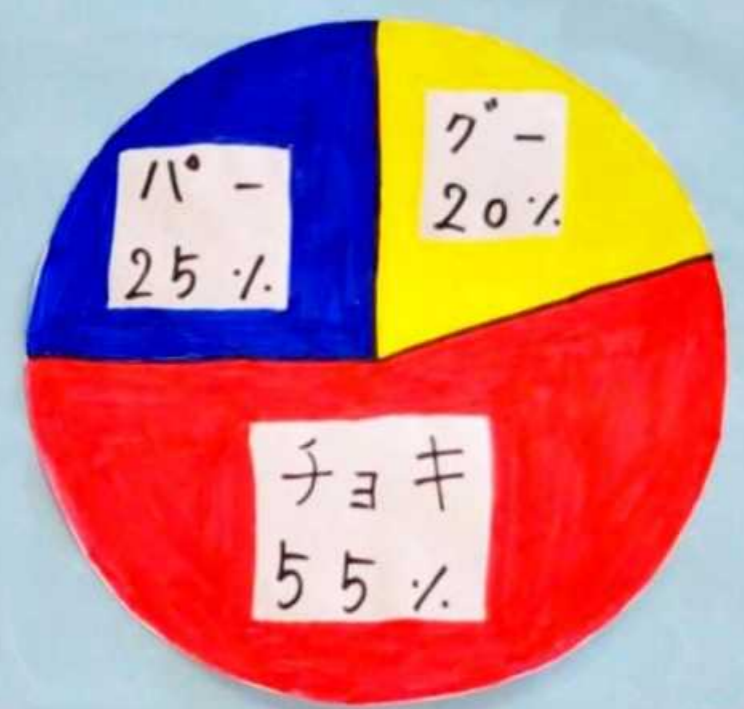
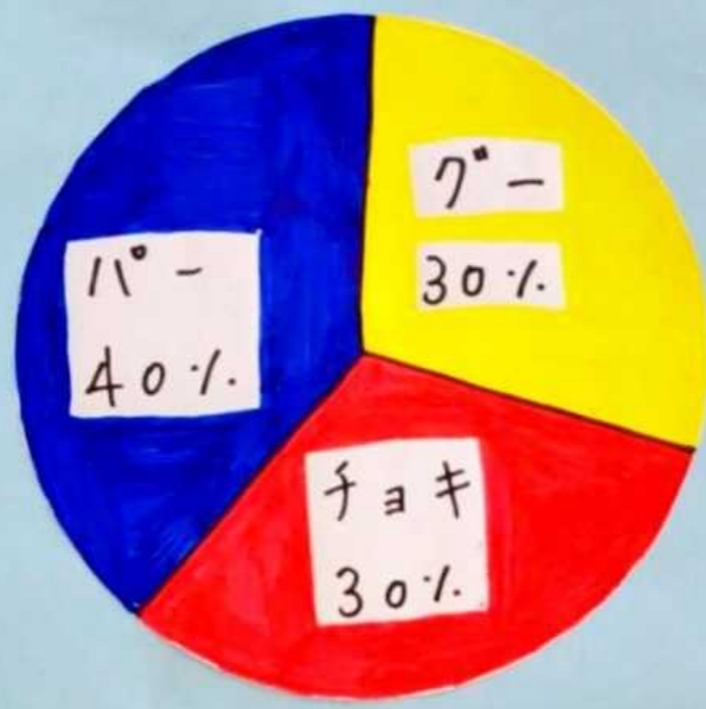
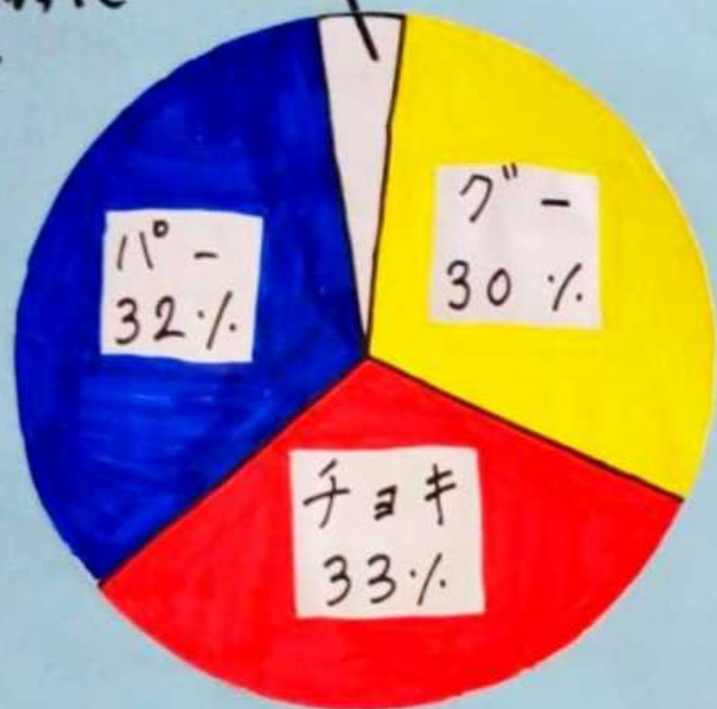
# じゃんけんぽいっ!!

## じゃんけんをするときの癖・心理は?

数十人と  
じゃんけんを  
行った。

1. 前ふりなくいきなりじゃんけんを始めたとき
2. じゃんけんすることを予告してから始めたとき
3. 「パー」を出してから伝えたから始めたとき

出さなかった  
5%



1の結果  
グー、チョキ、パーを出す確率はそれぞれほぼ同じである。

1の考察  
唐突にじゃんけんをした場合、相手の手を予測することはほぼ不可能である。

2の結果  
少しだけだが、パーを出す確率が高かった。

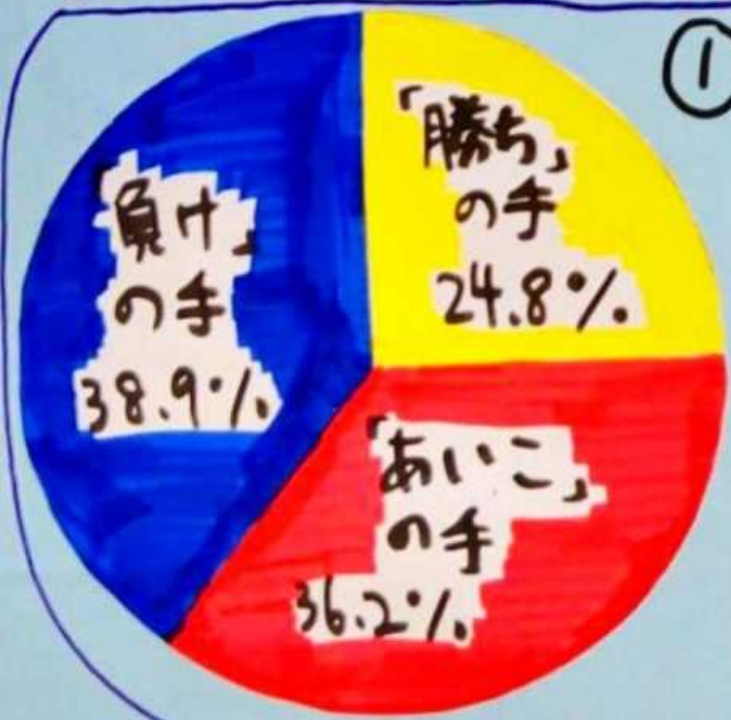
2の考察  
じゃんけんをすることを予告したとき、チョキを出すと勝つ確率が上がる。

3の結果  
半数以上が言葉信じでチョキを出した。

3の考察  
素直な人が多いが、裏をかいてかき回す回避からか「パー」、裏の裏をかいて「グー」を出す人もいた。

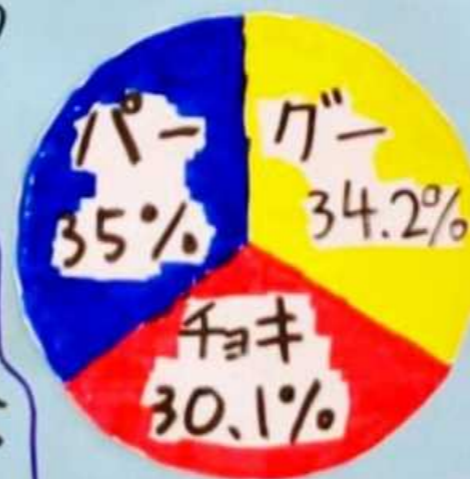
2人ずつ3組の人に連続で数十回ずつ計160回じゃんけんをしてもらった

① 前回の相手の手に対して、どのような手を出したのか。

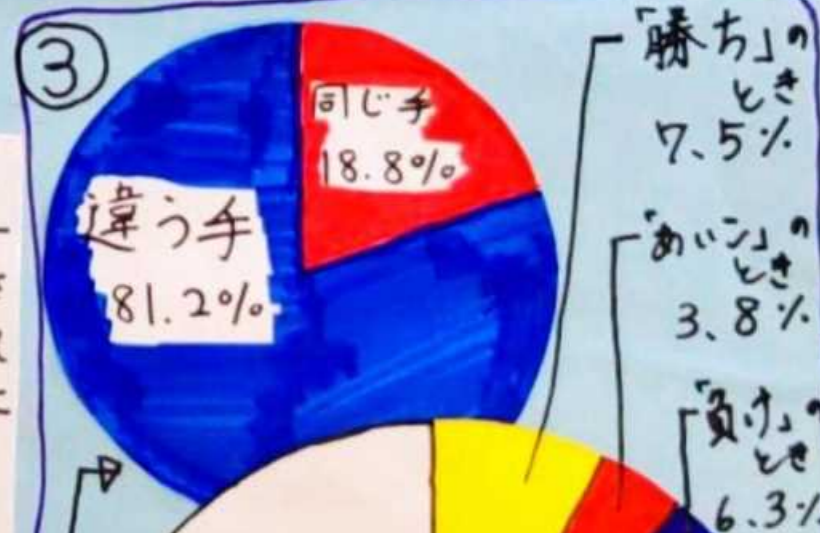


①の結果  
勝ちの手を出す確率は他の手に比べ低いが、3つのパターンに大きな差はなかった。

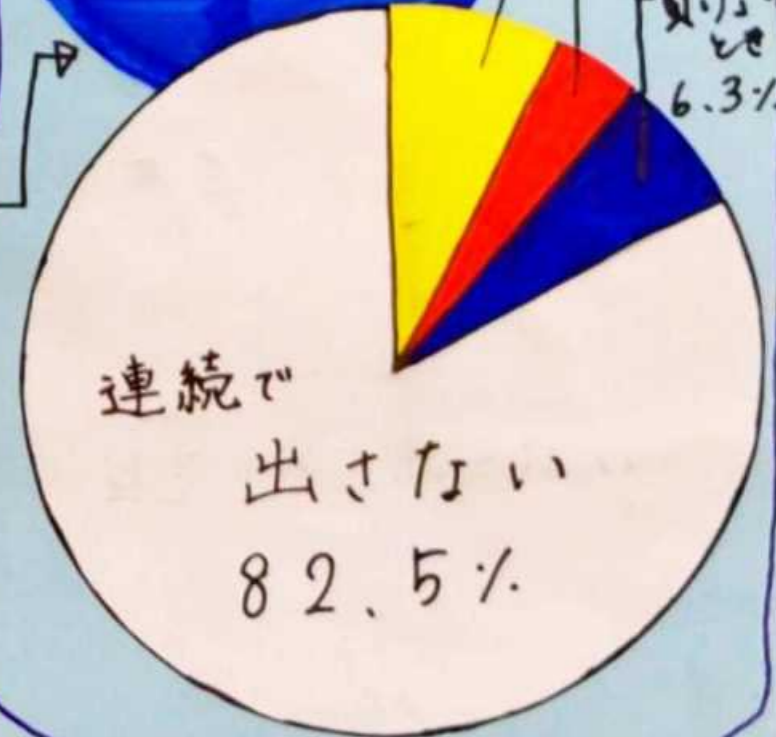
①の考察  
もしも相手がこの結果を知らないのであれば、前回自分が出した手と同じ手をもう一度出せば、負ける確率が低くなる。



←左の結果  
グー、チョキ、パーを出す確率は、それぞれほぼ均等になる。



③の結果  
同じ手を連続で出す割合は、約19%であった。ここから相手の手を読むことは効果的である。

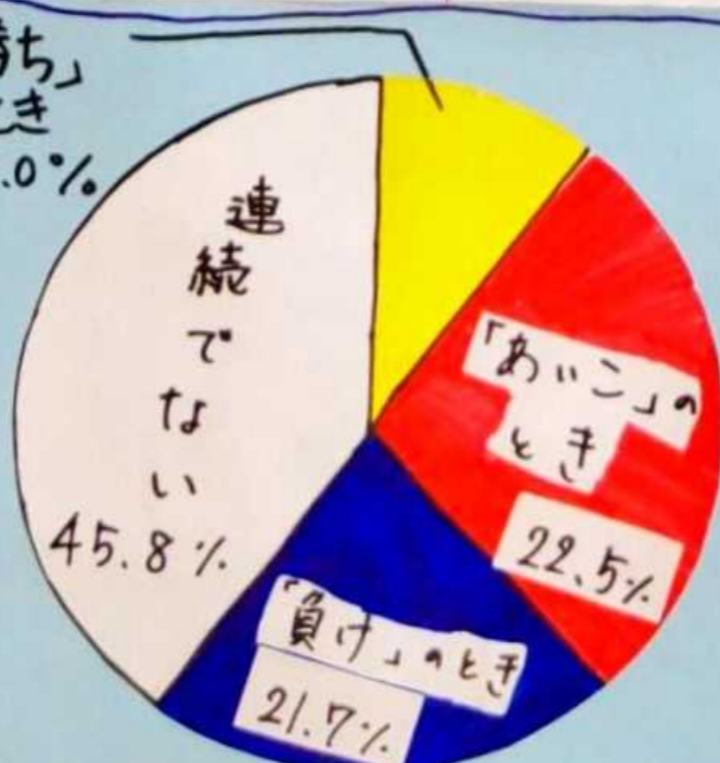


② ①のような出す手の法則が連続したのはどれくらいか。また、「勝ち」のとき、どの手のときか。

「勝ち」のとき  
10.0%

②の結果  
全体として、約55%の確率で、前回と出す手の法則は同じであった。特に、「あいこ」負けの手を出す法則は連続によりやすかった。

②の考察  
前回の自分の手、今回の自分と相手の手を覚えていて、瞬時に今回の相手の手の法則を考えれば、55%の確率で勝つことができる。



## 考察

- ・世間では、「じゃんけん必勝法」などが出回っているが、単発のじゃんけんでは圧倒的な偏りはみられなかった。
- ・連続したじゃんけんでは、勝率を上げる方法をいくつか見出すことができた。